

令和6年度(2024年度) 第1回北海道真駒内養護学校 学校運営協議会 【議事録】

- 1 日 時 令和6年6月13日(木曜日) 9時30分～11時30分
 2 場 所 北海道真駒内養護学校 会議室
 3 学校運営協議会委員…12名(1名欠席)



【内 容】*司会：副校長 記録：主幹教諭

1 学校長挨拶 2 出席者自己紹介 日程説明(副校長) 3 説 明 ①規約の説明(副校長) ②活動計画の説明(副校長) ③会長の選任(副校長) ④学校運営に関する基本方針 及び重点等の説明 (学校長) ⑤令和6年度の学校概要説明 (副校長) ※資料あり	1 校長挨拶 2 出席者自己紹介 副校長より資料に沿って、本日の日程について説明する。 3 ①北海道真駒内養護学校 学校運営協議会【規約】(案) *資料に沿って説明をしている。 学校運営協議会を実施するにあたり、北海道教育委員会からの規定を もとに、本校の規約を策定し運営をしていく。 この規約の内容については、次回ご意見をいただき協議していきたい。 →質疑なし ②活動計画について *資料に沿って説明、確認をしている。 ③会長の選任について 本校PTA会長の北條俊介様を選出し、出席者全員からの承認が得られ たため決定とする。 ④学校運営に関する基本方針及び重点等の説明 *資料に沿って説明をしている。 →今年度については、学校、保護者と地域の方々子どもたちのために、共に 話し合い協力し合っていきたい…との願いからサブタイトルに『共創』と入 れている。また、自分らしい生き方を実現するため、自立し社会参加のため に必要な力として、本校の育てたい力「生きる力の五要素」として掲げ、キャ リア発達支援の視点も 意識しながら教育活動を推進していく。 〔経営の重点について〕 昨年度の学校評価の内部評価からは、“働くことに喜びを感じる”“安心し て働くためのサポート体制”が低くなっていた。また、一部の職員への業務負 担が大きく、業務の平準化について課題となっている。心理的安全性の高 い、教職員が安心して働ける職場環境が求められている。 →今年度については、地域と協働しながら、フラワースマイルの他、町内会 の方々と一緒に防災教育などでの取組ができると良いと考えている。 〔指導の重点について〕 ICTを活用した授業や「他学部や他学年の様子が分かりにくい」との声が 多く、学びの連続性についても低評価となっている。 →学びの繋がりを意識した教育活動を目指し、学びのグランドデザインをよ り細分化したものの見える化ができるとよいと考えている。また、学習指導 要領と3観点をより意識した教育活動と学習評価を意識していき定着させ ていきたい。 ・ウィルビーイングに向けて、学校運営協議会を教育活動に活用していきたい。 子どもたち、教職員、保護者・地域のウィルビーイングの実現を目指して 取組を進めていきたい。 →質疑なし 出席者全員からの承認を得る。 ⑤学校要覧に沿って説明をする。 ・学校教育目標と各学部間の目標とつながりについて、地域と連携した本 校の取組についての説明をする。 ・本校の地域学習及び地域支援について、学校要覧と配付資料に沿って説 明をする。 ・そのほか学校の取組状況について2点説明をする。 〈いじめ防止対策〉 「北海道真駒内養護学校いじめ防止基本方針」に沿って説明をする。
---	--

4 授業参観及び校内見学 (副校長)

5 熟議



6 辞令交付(学校長)

7 閉会の挨拶(会長)

次会についての確認(副校長)

〈働き方改革〉

道教委の働き方改革のアクションプランを活用して、超過勤務について、管理職を含めた教職員の業務の平準化を目指し推進していきたい。

〔説明内容について熟議〕

○学校と地域が連携した取組について

- ・防災について、地域と連携した取組ができるのではないかと？
→各町内会に防災部長など役割のある方々がいるため、1回のみの計画ではなく、数回繰り返して取り組めるように計画していければ、住民も参加しやすくなるのではないかと？
- ・行事などで地域の方々にも来校していただき、本校について知ってもらう。来校していただき、それと合わせて本校にある防災備品等を見ていただけるような機会を設定して防災の取組に繋げていくのはどうか？
→学校からの案内があれば良いと思う。ただ、1回だけではなく、回数を重ねることで、人の行き来も増えると思う。
- ・他校では、クリーンデイとして、地域の中学生と一緒に学校周辺道路のごみ拾いをする活動が続けていると聞いた。本校も地域の方々と一緒にそのような取組ができるのではないかと。

○働き方改革について

- ・学校だけではなく、どの業種においても課題だと感じている。この会議の中で、働き方改革について学校の取組も参考にしていきたい。
- ・校務のデジタル化についても、取組が進んでいる学校はある。校内で効率よくできるものは、参考にしながら取り入れていきたい。
- ・業務の平準化に向けた組織の整理、学校としても働き方改革は悩むところである。
→協働にはコミュニケーションが必要不可欠。コミュニケーションは大切にしていきたい。内部評価でのグラフの結果はあるが、個々の先生方の思いもある。学校の働き方は他の職種と一緒に考えられない・・・という思いがある。多忙さについても「子どもたちのために」という教職員の思いがあるからこそと考慮してほしい。

○教育活動について

- ・小学部から高等部までを通して、コミュニケーション力を高めることについてとても重要だと考えている。
- ・卒後の生活についてや札幌圏外にも困っている子どもたちがいるのではないかと・・・いつも気にかけている。学びの場所、生活の場、子どもたちの支援を誰がするのか・・・など。真駒内の教職員に期待するところが大きいと思う。

○その他

- ・事業所や各機関でのイベントにも学校が参加できるとよい。
→週末のイベントとなると児童生徒の参加は難しいが、職員が参加することとはできるかもしれない。イベントなどの案内があれば知らせてほしい。

〔会長挨拶〕

本日はありがとうございました。各専門の方々の意見をたくさん聞かせていただき、とても良かったと思う。真駒内養護学校の子ども達のために、よりよい協議会運営ができれば良いと思っている。
今後もしようしくお願いしたい。

- ・次回については11月開催予定